OpenShiftを用いた CI/CD開発体験

レッドハット株式会社 テクニカルセールス本部



1 DevSecOpsの全体像について

2 CIパイプラインの作成

3 CDパイプラインの作成



アプリケーションの セキュリティプラクティス DoD - DevSecOps



DevSecOpsの適用ステップ (DoD)

設計 構築/開発 運用

目標の設定

フレームワークの設定

プロセスに適用

実装を測定する

DevSecOpsを採用する理由と、 そこから何を達成すること目標と するのかを決定します。 DevSecOpsの目標を管理するための手順やルールを各テーマごとに定義します。 (ガードレールを引く) DevSecOpsプロセスを担当する 特定のチームメンバーを割り当 て、それを実行に移します。 メトリクスを収集しながら、 DevSecOpsの目標をどの程度達成できているかを継続的に測定します。

□ DORA



DevSecOps Fundamentals



DevSecOps Strategy Guides (*1)



Tools and Activities Guidebooks



DevSecOps Playbooks

技術実証の結果を Playbookに適用



Reference Designs

- Architecture Requirements
- Operation Process
- Development Pipelines

•Change failure rate

Deployment frequency

•Lead time for changes

リファレンスを模範した 実装と適用

• Failed deployment recovery time



実装前の想定を取りまとめ

継続的な実装の改善

DevSecOps Fundamentalsの内容



DevSecOps Fundamentalsは、 アプリケーション/システム毎でなく基準書に取り入れるべき内容

概要

- 1. Introduction
- 2. Agile
- 3. Software Supply Chains
- 4. DevSecOps

5. DevSecOps Lifecycle

- 6. DevSecOps Platform
- 7. Current and Envisioned DevSecOps Software Factory Reference Designs
- 8. Deployment Types
- 9. Minimal DevSecOps Tools Map
- 10. Measuring Success with Performance Metrics
- 11. DevSecOps Next Steps

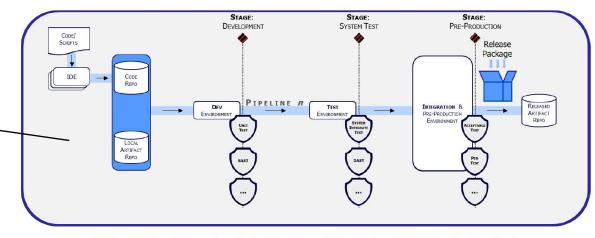
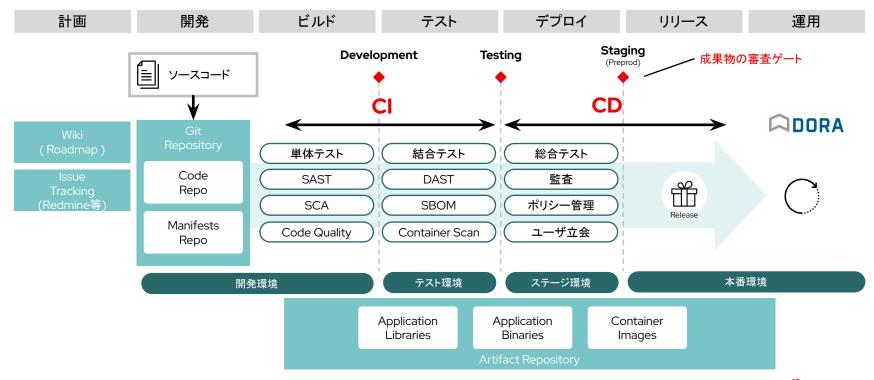


Figure 6 Notional expansion of a DevSecOps software factory with illustrative list of tests



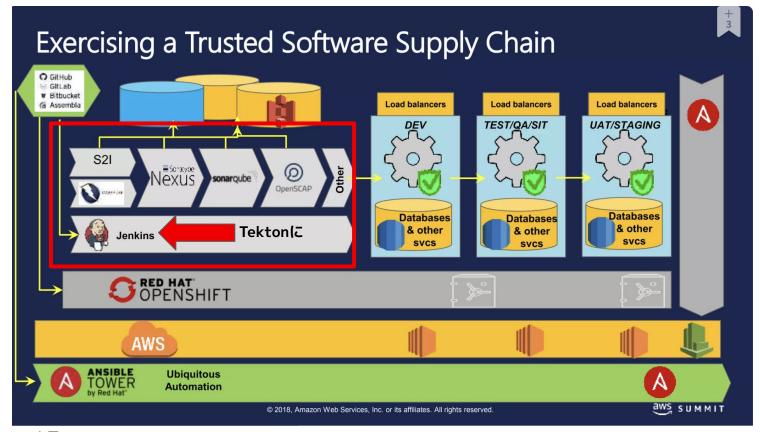
DevSecOpsのライフサイクル



CIハンズオン

0

参考にする CIパイプライン: US Navy C2C24

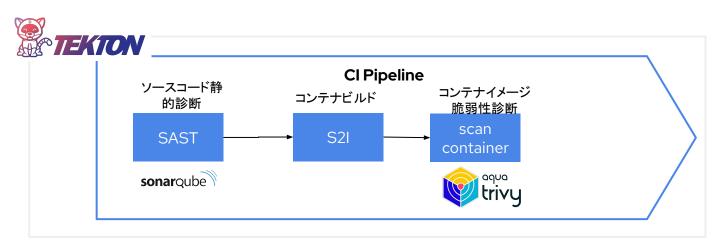




CIハンズオンシナリオ

C2C24と同等のCIパイプラインを作成します。

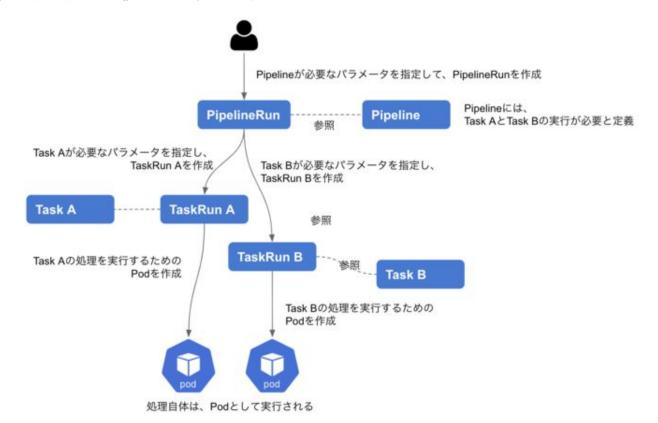
- ・ハンズオンの流れ
 - •ClツールのTektonでPiplelineを作成
 - ・Piplelineに、以下のタスクを追加
 - ・ソースコード静的診断: sonarQubeを使用
 - ・コンテナのビルド: S2Iを使用
 - ・コンテナイメージの脆弱性診断: aqua trivyを使用





Tektonのパイプラインの考え方 (1/2)

最初は、どうしても慣れが必要です。





Tektonのパイプラインの考え方 (2/2)

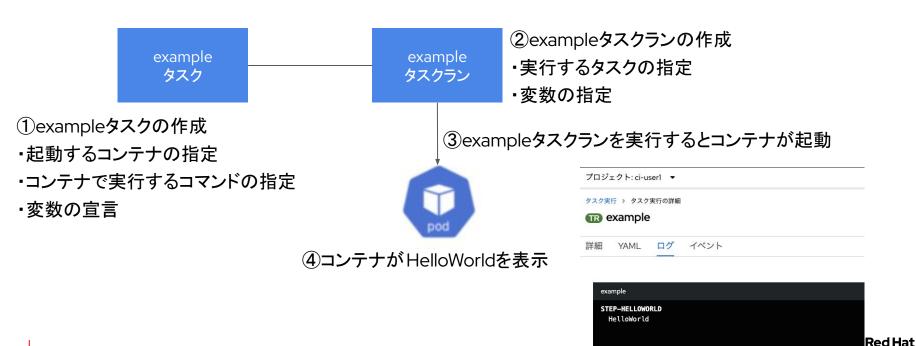
最初は、どうしても慣れが必要です。

用語	説明
Task	Tektonで表現できる最小の実行単位。ひとつ以上のStepから成り立つ。Taskが必要とするパラメータなどを定義できる。
TaskRun	定義したTaskを実行するために利用。Taskの実行に必要な、入力や出力・パラメータなどを指定する。 TaskRun単体として利用することもできるが、Pipelineを実行したときにTaskRunが作成される。
Pipeline	パイプライン。定義したTaskの集合体。パイプラインを実行するのに必要なパラメータなども定義できる。
PipelineRun	定義したPipelineを実行するために利用。パイプラインを実行するために、入力や出力、パラメータを 指定する。



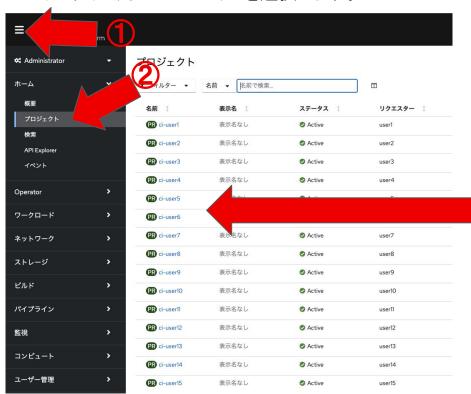
TektonタスクでHelloWorld(1/)

まずは、画面にHelloWorldを出力するシンプルなタスクを作成し、タスクの概要を理解します。 作成するタスクとタスクラン (タスクだけ実行するもの)を以下に示します。



TektonタスクでHelloWorld(1/6)

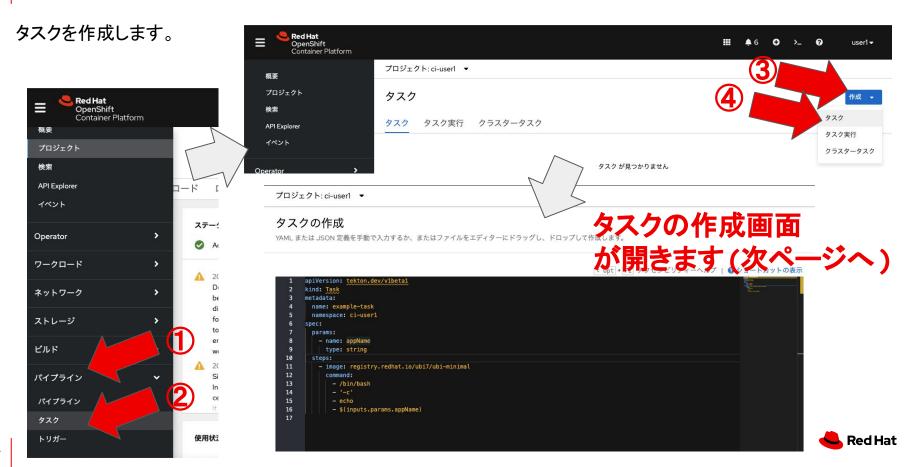
OpenShiftのWeb画面にログインします。(ログイン方法、ユーザ名・パスワードは講師が案内します) CIパイプライン用のプロジェクトを選択します。



ci-<ユーザ名> user1の場合は ci-user1を選択



TektonタスクでHelloWorld(2/6)



TektonタスクでHelloWorld(3/6)

タスクを修正します。

```
apiVersion: tekton.dev/v1beta1
kind: Task
metadata:
name: example-task
namespace: ci-user1
spec:
params:
 - name: appName
  type: string
steps:
 - image: registry.redhat.io/ubi7/ubi-minimal
  command:
   -/bin/bash
   - '-c'
   - echo
   - $(inputs.params.appName)
```

```
apiVersion: tekton.dev/v1beta1
kind: Task
metadata:
name: example-task
 namespace: ci-user1
spec:
 params:
                  paramsで変数の指定
 - name: appName
                  appNameという変数を文字列 (String)
  type: string
steps:
 - image: registry.redhat.io/ubi7/ubi-minimal
  name: helloworld
                            imageで利用するコンテナを指定
  script: |
   #!/bin/bash
   echo "$(params.appName)"
                 scriptで、処理を記載
                 (ほぼバッチのような内容)
```



TektonタスクでHelloWorld(4/6)

タスクを実行します。





TektonタスクでHelloWorld(5/6)

タスクランを修正します。

apiVersion: tekton.dev/v1beta1

kind: TaskRun metadata:

name: example

namespace: ci-user1

spec: {}



kind: TaskRun metadata:

name: example

namespace: ci-user1

spec:

taskRef:

name: example-task

params:

name: appName value: "HelloWorld" taskRefで、さきほど作成したタスク example-taskを指定

paramsで、変数appNameに、 値(Value)をHellowordを指定



TektonタスクでHelloWorld(6/6)

タスクランを修正します。



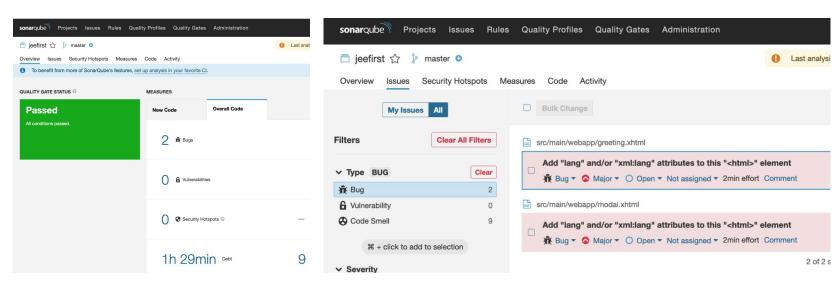




ソースコードの静的診断のタスク作成 (1/4)

SonarQubeについて

SonarSourceが開発したオープンソースプロジェクトで、約30のプログラミング言語 (Java,PHP,HTML,CSS3等)でコードの静的解析を実行し、コード品質を継続的に検査して、コード品質、コードセキュリティのチェックを実施するツールです。



静的解析結果

バグ摘出結果



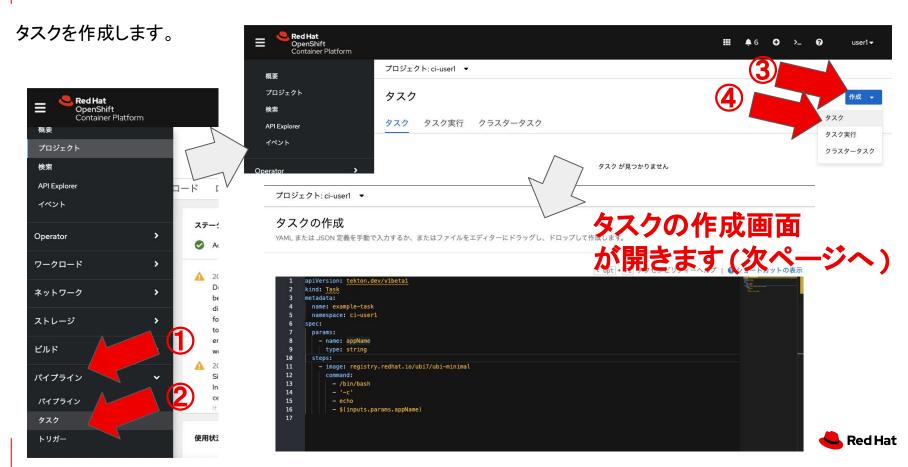
ソースコードの静的診断のタスク作成 (2/4)

ソースコードの静的診断のタスクを作成します。 作成するタスクの処理内容を以下に示します。

- •cleanup-repo:ゴミ掃除
- •clone-repo: サンプルソースコードの取得 サンプルソースコード https://github.com/takahiro-ino/cakephp-ex.git
- •run-sonar-scanner:ソースコードの静的診断 SonarQubeサーバに対して、sonar-scannerコマンドを用いて、静的解析を実行



ソースコードの静的診断のタスク作成 (3/4)



ソースコードの静的診断のタスク作成 (4/4)

下記の定義ファイルの内容をタスク作成の画面に貼り付け、作成します。

https://github.com/takahiro-ino/cicd-handson/blob/main/sonar-scanner-task.yaml





コンテナビルドのタスク作成

コンテナビルドのタスクは、既に OpenShiftで準備されていますので、作成は不要です。 パイプライン作成時に、パラメータを指定しますが、パラメータは後述します。

・Source to Imageビルドについて アプリケーションソースコードとベースイメージを動的にビルドする機能 (s2i) この機能によって、開発者はソースコード開発に専念できます。





コンテナイメージスキャンのタスク作成 (1/3)

コンテナイメージスキャンのタスクは、コンテナイメージの脆弱性診断ツールの Trivyを使用します。

Trivyの診断内容

- ・使用しているOSのソフトウェアの依存関係(SBOM)
- ・既知の脆弱性(CVE)
- ·laC の問題と設定ミス
- ・機密情報とシークレット情報

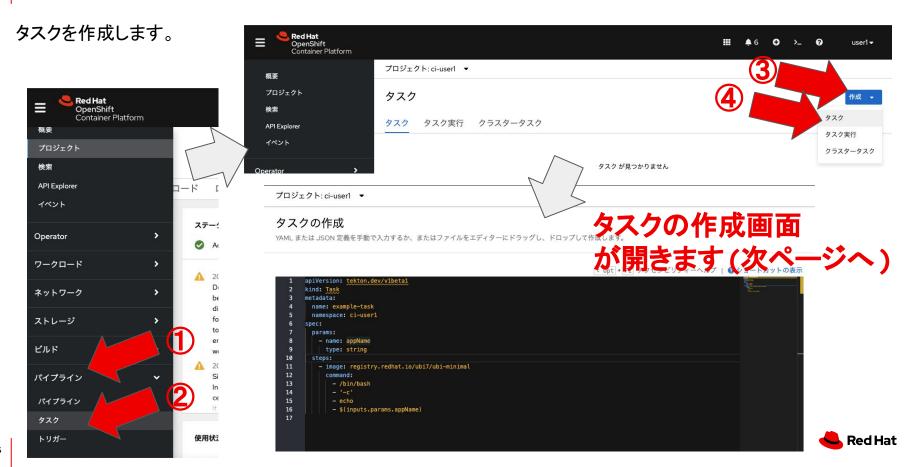
Trivyの脆弱性DB

- Trivyの脆弱性スキャンは、脆弱性 DB(trivy-db)をベースに行われます。
- ・脆弱性DBは、6時間おきに更新されています。





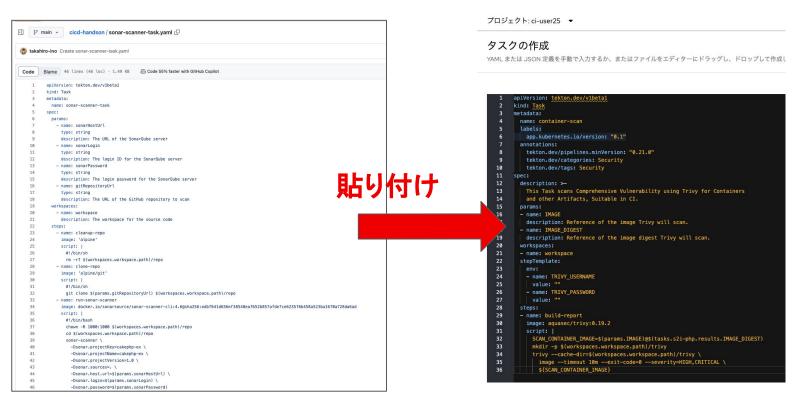
コンテナイメージスキャンのタスク作成 (2/3)



コンテナイメージスキャンのタスク作成 (3/3)

下記の定義ファイルの内容をタスク作成の画面に貼り付け、作成します。

https://github.com/takahiro-ino/cicd-handson/blob/main/container-scan.yaml





ここまでの作業で、必要なタスクを作成しました。 タスクを組み合わせて、CIパイプラインを作成します。





ワークスペースの設定をします。ワークスペースは作業用のディレクリ /フォルダに相当します。





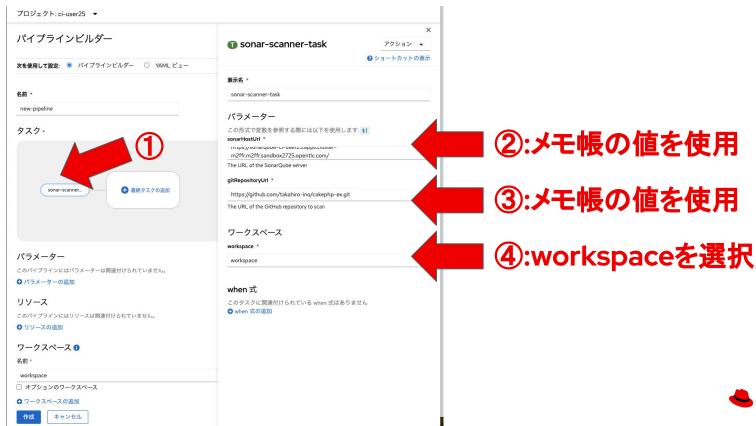
ソースコードの静的診断のタスクを追加します。





母ワークスペースの追加

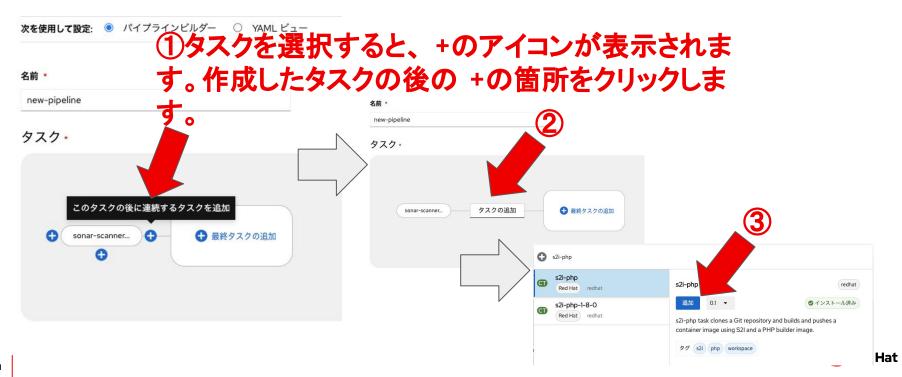
ソースコードの静的診断のタスクを追加します。



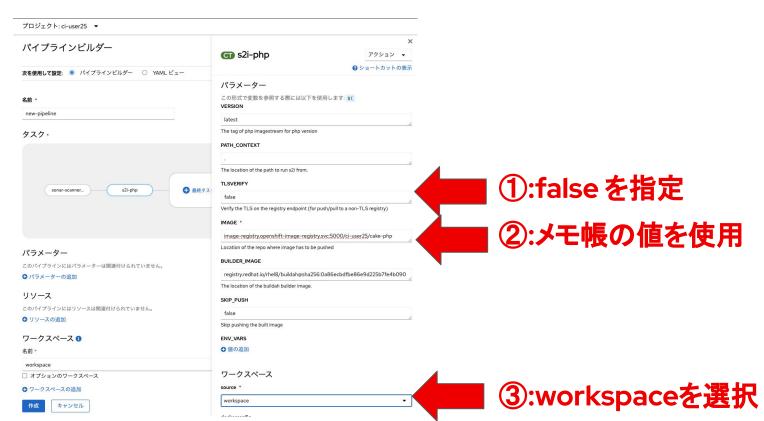
Red Hat

コンテナビルドの静的診断のタスクを追加します。

パイプラインビルダー



コンテナビルドの静的診断のタスクを追加します。



コンテナイメージスキャンのタスクを追加します。

さきほどと同様に、タスクを追加します。



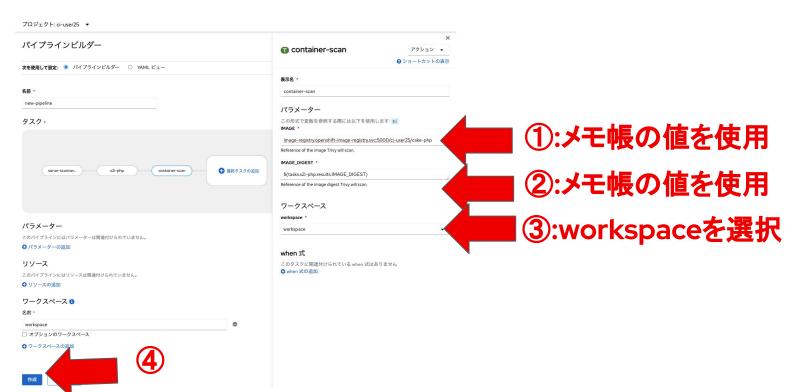


workspace

オプションのワークスペース

キャンセル

コンテナイメージスキャンのタスクを追加します。さきほどと同様に、タスクを追加します。





CIパイプラインの実行

作成したパイプラインを実行します。



CIパイプラインの実行

実行したパイプラインのログを確認します。



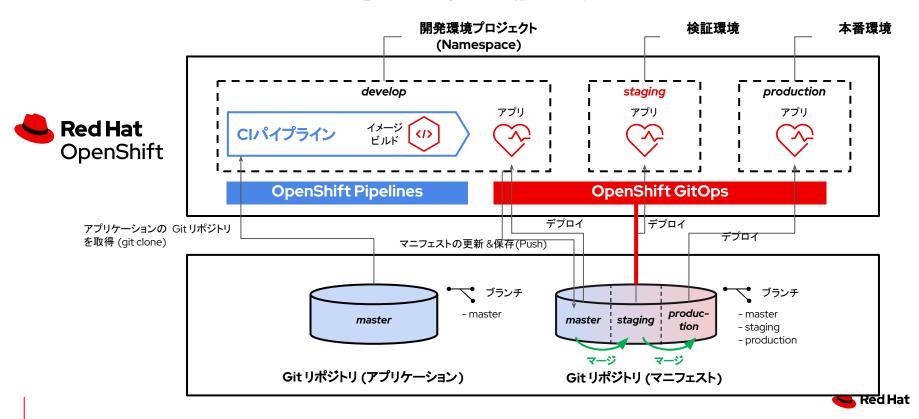


作成した時間: ③ 進行中

CD ハンズオン

CDハンズオン

CIパイプラインで作成したコンテナイメージを用いて、環境に配備します。



デプロイ用の YAML作成

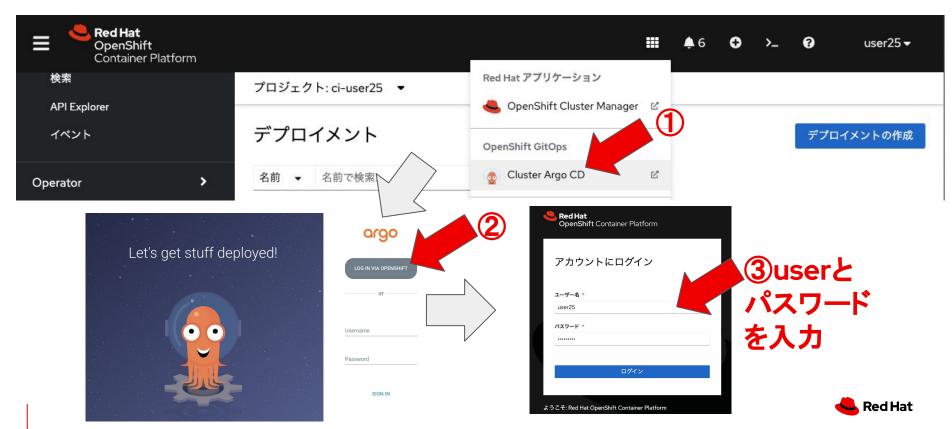
Gitlabに、以下のGitの内容をクローンします。 https://gitlab.apps.cluster-4gr6t.4gr6t.sandbox133.opentlc.com/tinoue/cicd-handson

cdフォルダにあるcake-php-deployment.yamlを修正します。

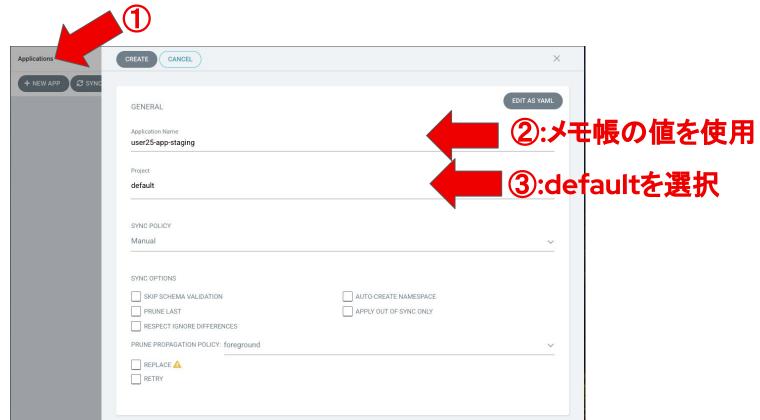
```
apiVersion: apps/v1
kind: Deployment
metadata:
name: cake-php-deployment
 labels:
 app: cake-php
                                                  clone後、
自身のuserに変更します。
spec:
replicas: 1
image-registry.openshift-image-registry.svc:5000/ci-userXX/cake-php:latest
    ports:
     - containerPort: 8080
      protocol: TCP
     - containerPort: 8443
      protocol: TCP
```



Argoにログインします。



Argoで、CDの設定を実施します。



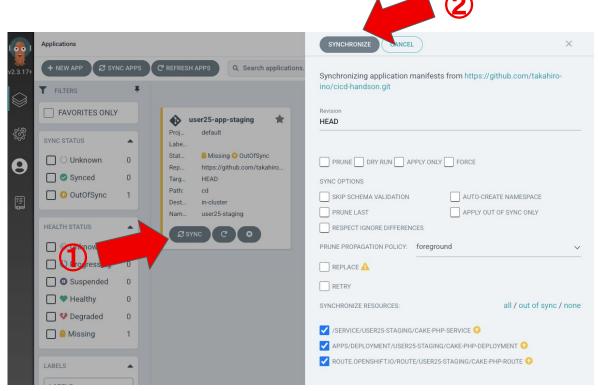


Argoで、CDの設定を実施します。



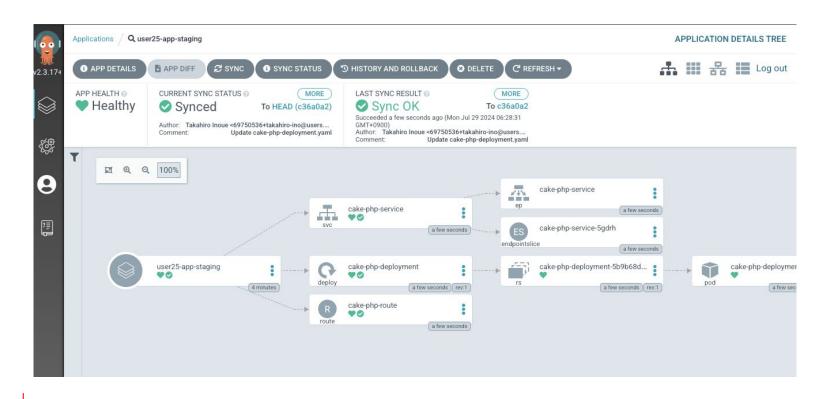


Argoで、CDの設定内容を同期をとります。





Argoで、gitの内容から、コンテナがデプロイされます。





Red Hat is the world's leading provider of enterprise open source software solutions.

Award-winning support, training, and consulting services make

Red Hat a trusted adviser to the Fortune 500.

- in linkedin.com/company/red-hat
- youtube.com/user/RedHatVideos
- facebook.com/redhatinc
- twitter.com/RedHat





TektonタスクでHelloWorld(5/6)

パイプラインを作成します。





TektonタスクでHelloWorld(5/6)

パイプラインを作成します。



②先ほど作成した example-taskを選択します





TektonタスクでHelloWorld(5/6)

パイプラインを作成します。

